

保健室だより



平成 30 年 9 月発行
大正大学 保健室

今月は「結核」を特集します。

「結核」は過去の病気だと思いませんか。実はそうではありません。日本では毎年約 18,000 人が新たに結核を発症し、毎年約 1,900 人が結核で亡くなっています。9 月 24 日～30 日は結核予防週間です。この機会に、結核に対する知識と理解を深めましょう。



結核とはどのような病気？

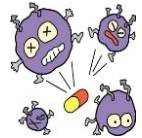
結核菌によって引き起こされる感染症です。結核菌は、体内に入り込んで増殖した場所によって、肺結核、腸結核、腎結核などを引き起こします。日本ではこのうち「**肺結核**」が、**約 8 割**を占めています。

発病すると、咳や痰、発熱など、風邪のような症状が現れ、そうした症状が長く続くのが特徴です。また、体重が減る、食欲がなくなる、寝汗をかくなどの症状があり、病気が進行すると血の混じった痰が出始めます。

どのように感染・発病するの、予防は？

❑ **結核に感染しても、すぐに発病するわけではありません。**

通常は、体の免疫力によって結核菌は増殖を抑え込まれて休眠状態になるため、そのまま発病しなかったり、いったんは感染しても免疫力によって結核菌が死滅したりすることが大半です。しかし、体の免疫力が結核菌を抑えきれない場合、結核菌は感染後 6 か月から 2 年程度の時間をかけてゆっくりと増殖し、発病にいたりします。



❑ **結核を発病した場合の初期症状**

咳や痰、発熱など風邪に似た症状が **2 週間以上**続きます。症状が長く続く場合は、**早めに医療機関を受診**しましょう。

❑ **感染や発病を防ぐには：普段から免疫力を高めておきましょう。**



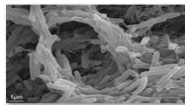
もしも結核と診断されたら？

結核は**早期発見・早期治療によって治せる病気**です。

医師の指示に従って、きちんと薬を飲み続けることが大切です。



- 「**感染**」については、ツベルクリン反応検査、インターフェロンガンマ遊離試験（IGRA）などにより診断します。
 - **ツベルクリン反応検査**
ツベルクリンという液を皮内注射して、48時間後に判定します。結核菌感染やBCG接種を受けた人は、皮膚が赤く反応します。
 - **インターフェロンガンマ遊離試験（IGRA）**
血液検査によって結核の感染を調べることができます。ツベルクリン反応検査は48時間後に皮膚反応を測定するため、再度医療機関を訪れる必要があります。しかし、IGRAなら血液を採って試験管内で検査できます。
- 「**発病**」については、X線を使った画像診断や喀痰検査で診断します。
 - **X線撮影検査**
肺結核の発病については、胸部X線撮影を行い、疑わしい影がある場合はCTスキャンなどの精密検査を行います。
 - **喀痰検査**
結核菌を排菌しているかどうかを調べます。塗抹検査、培養検査、遺伝子検査などがあります。
- 検査の結果、**咳や痰などに結核菌が含まれている場合は、「感染症法」**に基づき、専門の医療機関に入院して治療を受けることになります。発病していても人にうつす可能性がない場合は、通院で治療します。



結核菌の電子顕微鏡写真



9月の旬レシピ ～豚肉と茄子のポン酢炒め～



材料：豚肉 300g、茄子 2本、ごま、大葉適量、

調味料○ポン酢大さじ3・みりん大さじ1・鶏ガラスープの素小さじ1/2

作り方：①茄子は一口大で乱切りにします。

②豚肉を炒め、色が8割ほど変わったら、茄子を入れます。軽く炒め油が回ったら、蓋をして弱火で5分蒸し焼きします。

③蓋をとり余分な脂をふいて調味料○を入れ、軽く炒めながら絡めます。

④器に盛り、ごまと大葉をのせます。